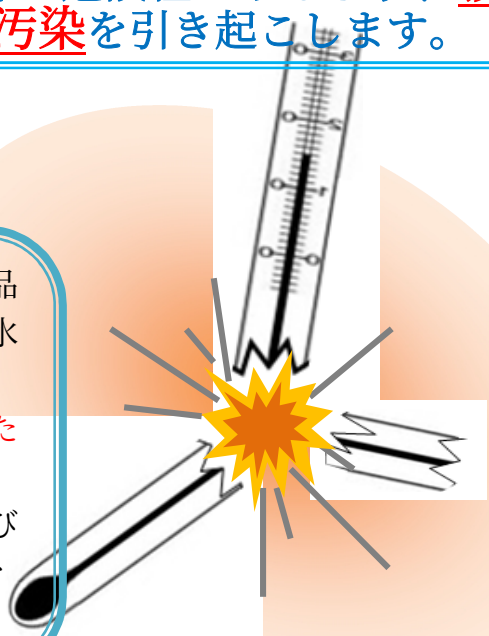
加熱中の水銀温度計 破裂 に注意！

本学では毎年「水銀温度計」を使用した際の破裂、水銀飛散事故が後を絶ちません。
ガラス破片の危険性のみならず、吸引による健康被害、環境汚染を引き起こします。



ケース①

平成 19 年 5 月、薬品を混合して加熱中、水銀温度計が破損した。
水銀蒸気を吸入した可能性があったので、実験していた学生及び周辺で作業中の学生を病院へ行かせた。

ケース②

平成 21 年 11 月、目を離している間に温度が 300℃を越えて水銀温度計が破裂してしまった。
破裂により温度計は途中で折れ、温度計の玉の部分が破損して水銀が漏れ出した。

使用時の注意点

① 測定可能温度を確認し、それを超えないことが確実な場合以外は使用しないこと。

② 温度計での攪拌はしないこと、人や物にぶつけて破損することがないようにして使用すること。

③ もし破損した場合は、適切な措置が急務な為、速やかに部局安全衛生管理室（内線　　）に連絡すること。

2010.1　環境安全本部

※可能であれば水銀温度計以外の温度計等を使うことを推奨します。
水銀温度計を廃棄する場合は部局担当者へご相談ください。